



最建設発6650号
平成19年5月2日

国土交通省道路局長 殿

山形県最上郡最上町長 高橋 重美



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

新緑の候、貴職におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、標記意見書を提出させていただきますので、宜しく願い申し上げます。

今後の道路政策や道路の整備・管理についてのご意見

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

- ・ネットワークがつながっていない高速道路の整備
- ・地域活性化や物流のため都市や交通拠点を結ぶ道路の整備
- ・大雨・大雪や地震などの災害、重大事故などの備え（避難路の整備・橋の補強・雪崩予防柵の設置など）

例

- ・石巻・新庄間地域高規格道路（国道47号）
この地域高規格道路は本町にとっても地域間交流や産業経済（岩手県トヨタ関連）の発展に極めて重要であり、一日も早い「計画路線」への昇格の要望
宮城・山形県境部は迂回路がない道路であり、災害等の対策のため、地域高規格道路を見据えた局部改良（バイパス化）の建設の要望
観光立国に向けた道路整備（日本海と太平洋）
- ・瀬見地区の歩道及び流雪溝整備
- ・下立小路地区の防雪柵設置

2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- ・個別の事業のスピードアップを図るなどスケジュール管理を徹底する。
- ・道路の建設や管理に係るコストをもっと減らす努力をする。
- ・事業の実施にあたっては、早い段階から国民の考えや意見を十分に反映されるような取組をもっと行なう。

3. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関するご意見

- ・凍上災指針の改正
道路土木排水工指針において、10年間の凍結指数を算定し、その最大値を超える低温により発生した災害となり、寒い地域ではなく気温の差であるため、暖かくても気温差があれば災害対象になる。平成17年度凍上災において、最上町は寒冷地であるが、温度差がないために凍上災が対象にならなかった。山形市が対象になり、最上町や金山町のような寒い地域が対象にならないような制度は納得しがたい。何らかの改正が必要と考える。
- ・道路維持管理（舗装復旧）の補助制度の創設
町道舗装が著しく損傷（亀甲）し早期復旧が必要であるが、厳しい財政状況の中、先送りせざるおえない。どこの市町村においても単独予算での復旧は難しいものと思われる。国の財政的支援が必要である。
- ・国道改良により町道編入された道路施設（橋梁など）修繕費の支援
国道47号は昭和40年前後に改良され、バイパス化された。残った道路は町道に編入され現在に至っており、耐用年数的にも限界に近い。長大橋などの構造物があり、維持修繕や延命修繕に多くの費用を要するので、財政的又は技術的支援を要望する。
- ・道路整備の中期計画への意見
幹線道路網や公共交通機関が整っている都市部と本町のような整備が遅れている地域では、道路整備に対する意識が大きく違いがあることを十分に認識し、地域の事情に配慮した計画を要望する。